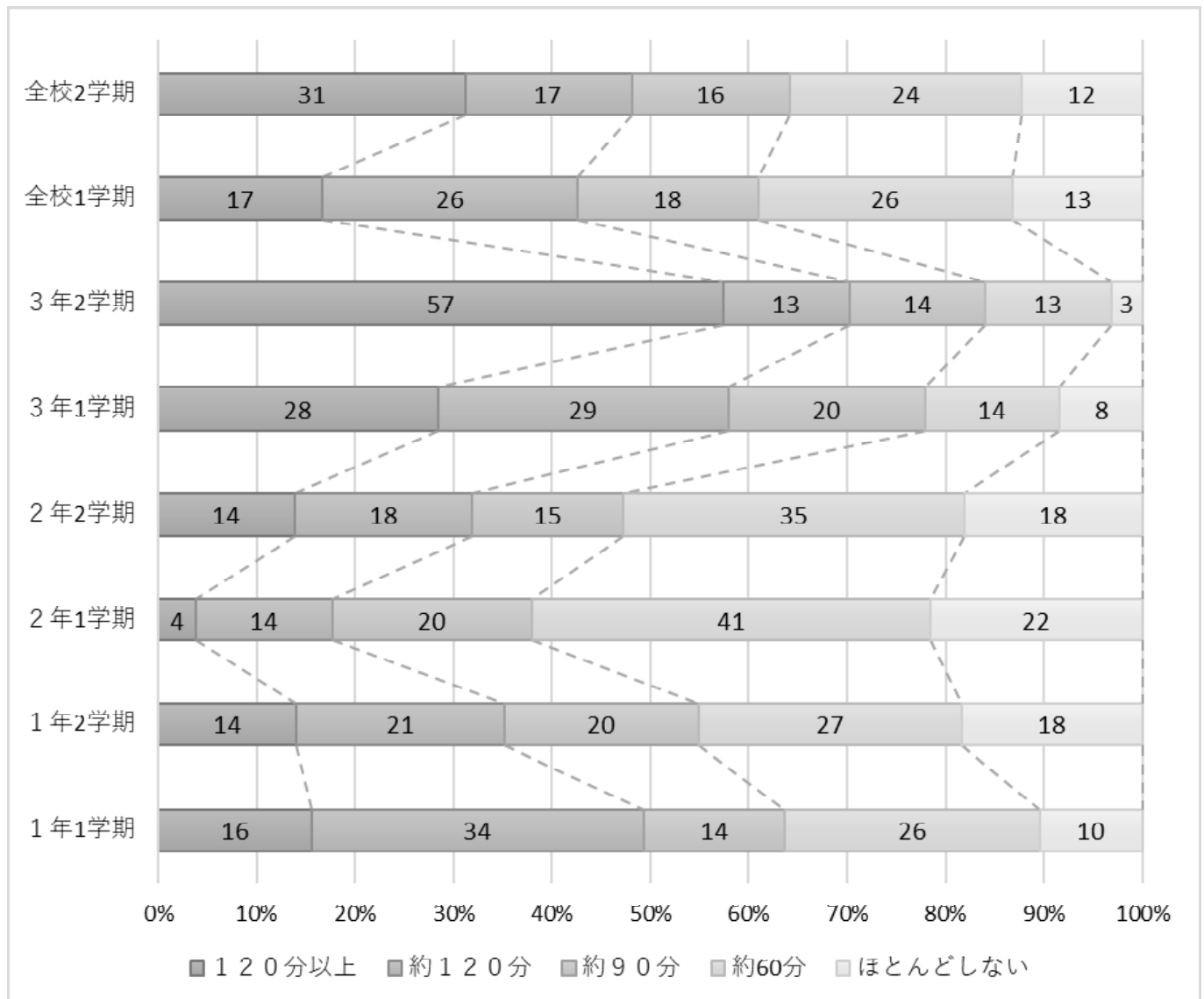




アンケートから見た家庭学習の時間について！

これまでの「学校だより」で本校の学力の課題について書かせていただきました。本校の学力の課題は、1年生及び2年生の家庭学習時間の少なさです。3年生は高校受験を間近に控えていることもあり、1学期に比べて学習時間が増加し、毎日2時間以上家庭学習をしている生徒が70%になりました。2年生の平日2時間以上学習している割合は1学期の18%から32%に上昇しています。この割合は本年度の全国学力学習状況調査の全国の3年生の割合とほぼ同じです。しかし、家庭学習をほとんどしていないと答えた割合は18%で、1年生の1学期からほとんど変わっていません。1年生は、1学期に2時間以上学習していた割合は50%だったのが、35%に減少しています。また、家庭学習をほとんどしていないと答えた割合は10%から18%に増加しています。1年生及び2年生の5人に1人は家庭学習をほとんどしていない現状です。

○ 普段の1日の「家庭での学習時間」(塾や習い事を含む) 1学期・2学期の比較



新年を迎えるにあたって、家庭学習を始めましょう！

これから冬休みに入り、新年を迎えます。私たちの生活の中で、新たなことを始めるのに適した時期を迎えます。新年を迎えるにあたって、今年も家庭学習について書きます。

教育相談の家庭学習時間についての話の中で生徒の皆さんから、「私のテストの点数が低いのは、今は家庭学習をしていないからだ」と分かっている。やったらできるのだけれど、今はその気にならないので、時期が来たら一生懸命にするから」ということはよく出てきます。受験などの必要に迫られて、家庭学習時間を増やしても、思っていたほど成果が出ずに諦めてしまう事はよくあることです。諦めずに学習を続けた人だけが成果を得られます。始めた頃は他事が気になってすぐにやめてしまったり、時間は過ぎていくけれど、何も頭に入っていなかったりしますが、諦めずに続けていると、いつのまにか、「机に向かうと集中できていたとか、気がついたら1時間経っていた」という経験ができるようになります。このようになってくると、家庭学習に費やした時間が結果に表れるようになります。学習の成果の多くが、その時点までに積み上げた総学習時間に比例します。学習時間を費やさずに成果を得ることはできません。家庭学習をやろうと思いついたら、すぐに始められること、更には、やり続けられることが、大きな学力だと、私も中学校から高校にかけて知りました。一旦この体験をすると、後は学習時間をのばしたり、効率的な学習の方法を他の子に聞いたり、自分で試行錯誤するようになります。

あらためて書きますが、「分かる」と「できる」は違います。「分からない」なら丁寧に教えてもらったり、何度も教えてもらったりする中で、分かるようになります。一度分かっても、「できる」ようになるまで学習しなければ、忘れてしまったり、難しい問題を解いたりはできません。また、「分からない」のに、家庭学習の時間を費やしても成果は出ません。皆さんの中学時代の貴重な時間を、スマホのゲームやSNSで時間つぶしをしているのなら、早くにやめて、家庭学習の時間に変えて欲しいと思っています。

新しいことを始めるのに適した、節目のこの時期に、もう一度家庭学習に向かって欲しいと思っています。最後に、城東中学校の学力の課題を再掲します。

城東中学校の学力の課題

「平日2時間以上、休日4時間以上家庭学習をする」

- ・自分の将来目標を常に持つ。
- ・授業で分かったことができるようになるよう、家庭学習をしっかりと行う。
- ・家庭学習の時間を確保するために、スマホの時間を我慢する。
- ・余暇は、読書を楽しむ。

冬休み中の学校閉校日のお知らせ

伊賀市の全公立小中学校で、12月28日(木)～1月4日(木)を閉校日とします。

お急ぎの場合は、担任または下記の連絡先にお電話をお願いします。なお、学校教育課に繋がらず伊賀市役所の守衛の方に繋がった場合は、「学校名、学年学級、生徒名、電話番号」をお伝えください。学校から折り返し連絡させていただきます。

【連絡先】伊賀市教育委員会学校教育課 電話：0595-22-9649